

関西研修センター 給湯配管補修工事 仕様書

No.	項目	特記事項
1.	発注概要	<p>(1) 宿泊棟客室用PS内、縦系統給湯銅配管および接手、弁等の取替を行う。</p> <p>(2) 契約、発注日 2022年9月28日(予定)</p> <p>(3) 工期 2022年12月22日(木)～2023年2月28日(火) (予定 完了報告書提出を含む)</p> <p>(4) 支払条件 完了報告書提出・検収後、翌月末(2023年3月末)に銀行振込を想定。</p>
2.	施工箇所	<p>(1) 宿泊棟客室用PS内縦系統給湯配管 : 計6系統 (宿泊棟東側)</p> <p>(2) 宿泊棟ランドリー用PS内縦系統給湯配管 : 計1系統 (宿泊棟東側)</p> <p>(3) その他工事 : 別紙「給湯配管補修工事の同時施工工事 仕様書」参照</p>
3.	施工内容	<p>(1) 内容</p> <p>① 宿泊棟客室用及びランドリー用PS内、縦系統給湯銅配管を撤去しSUS配管を復旧します。</p> <p>② 継手は拡管式とします。</p> <p>③ 8階仕切りバルブより2階SUS配管に接続施工。</p> <p>④ 上記①配管は既設バルブまで配管取替(縦系統の最上・最下の止水バルブは施工不要。)</p> <p>⑤ 床部配管は斫り撤去し新たに配管し埋め戻します。</p> <p>⑥ 施工対象の宿泊棟東側は施工中8F、2Fおよび東側(還り)バルブにより断水。 宿泊棟8-3階に設置のランドリーはその系統の施工完了後に給湯可能とします。 なお施工対象場所以外への給湯・給水供給が可能なように施工します。</p> <p>⑦ 保温工事(保温施工のなされている箇所は撤去および復旧を行います。)</p> <p>⑧ 上記①～⑦の工事は一括または複数回にわけて実施する工程とします。</p> <p>(2) 現状説明 施工箇所および縦系給湯配管の現状と配管の仕様は別紙「給湯配管系統図」、「配管数量」、「PS内縦系統給湯配管改修図」を参照。</p>
4.	施工(見積)条件	<p>(1) 工事範囲 本仕様書、添付図面その他に示された範囲、その他必要と思われる工事とします。</p> <p>(2) 施工日、施工時間について</p> <p>① 施工期間中、施工場所(宿泊棟東側客室)に宿泊者が滞在していないこととします。 但し、反対側(宿泊棟西側客室)に宿泊者が入っている状況での工事となり 発注者側と作業時間および工程に関して打ち合わせを行います。</p> <p>② 平日昼間の施工を想定していますが、一部工程は事前の協議により土曜日、 日曜日、祭日および夜間に実施することも可能とします。</p> <p>③ 施工時間は、原則として8:00～17:00の間に施工するものとします。</p> <p>(3) 次の事項は無償支給とします。</p>

No.	項目	特記事項
		<p>① 材料置き場、作業車駐車、産廃コンテナの場所</p> <p>② 施工に必要な電気、水</p> <p>(3) 特記事項</p>

- ① 施工にあたり、あらかじめ施工計画など以下の書類を施工開始日の2週間前までに作成し、当協会の承諾を得た上で施工を行ってください。
- 提出書類
 施工計画書
 使用資材届
 施工図
 作業員名簿・組織図
 工程表
- 施工計画書の書式は自由としますが、着工から完成・引渡しまでの施工順序と必要日数を示した内容としてください。
- ② 発注者の承諾なく施工した場合については、是正工事が発生した場合も施工者の無償対応とします。
- ③ 特記なき限り、位置・形状・同等品仕上材への変更についての工事費増額は行わないものとします。
- ④ 当協会の指示により工事費の増減が発生する場合は、その指示から2週間以内に書類にて追加見積書を提出し、発注者の承認を得るものとします。この手続きがない工事は工事費の増額は行わないものとします。
- ⑤ 作業の開始・終了にあたっては、必ず協会担当者に連絡するものとします。また、その他の指示に従ってください。
- ⑥ 給湯系全体に影響のある給湯弁・バルブの開閉は、協会担当者の立会いのもとで実施してください。(施工箇所の局所バルブを除く)。
- ⑦ 建物運営中の工事のため、施工者は宿泊者や建物利用者の安全に細心の注意を払い工事を行ってください。
- ⑧ 作業場所には、必要に応じて養生を施すものとします。
- ⑨ 撤去した既存機器や新規設置機器の梱包材、電線の廃材処分等は、受注者の費用と責任で搬出し、処理するものとします。
- ⑩ 駐車場および資材置場の利用については、協会が指定する場所を利用してください。
- ⑪ 入館の際は検温および手指の消毒を実施の上、受付で指定された入館手続きを行ってください。なお敷地内ではバッジ、腕章など識別できる目印を付けて下さい。
- ⑫ 作業に際しては、労働基準法・労働安全衛生法その他関係法規に則って安全に行なってください。
- ⑬ 施工完了後には完了届、完成図書を提出し、発注側担当者の検収を受けてください。
- (3) 内訳明細書等の書式、記載内容 他
 本競争実施要綱第13条第1項第五号に指定する入札金額の内訳明細書は、書式は自由としますが、別紙「見積項目」に記載の項目を明記してください。

添付資料:

- (1) 給湯配管系統図
 (2) PS内縦系統給湯配管改修図
 (3) 配管数量
 (4) 見積項目

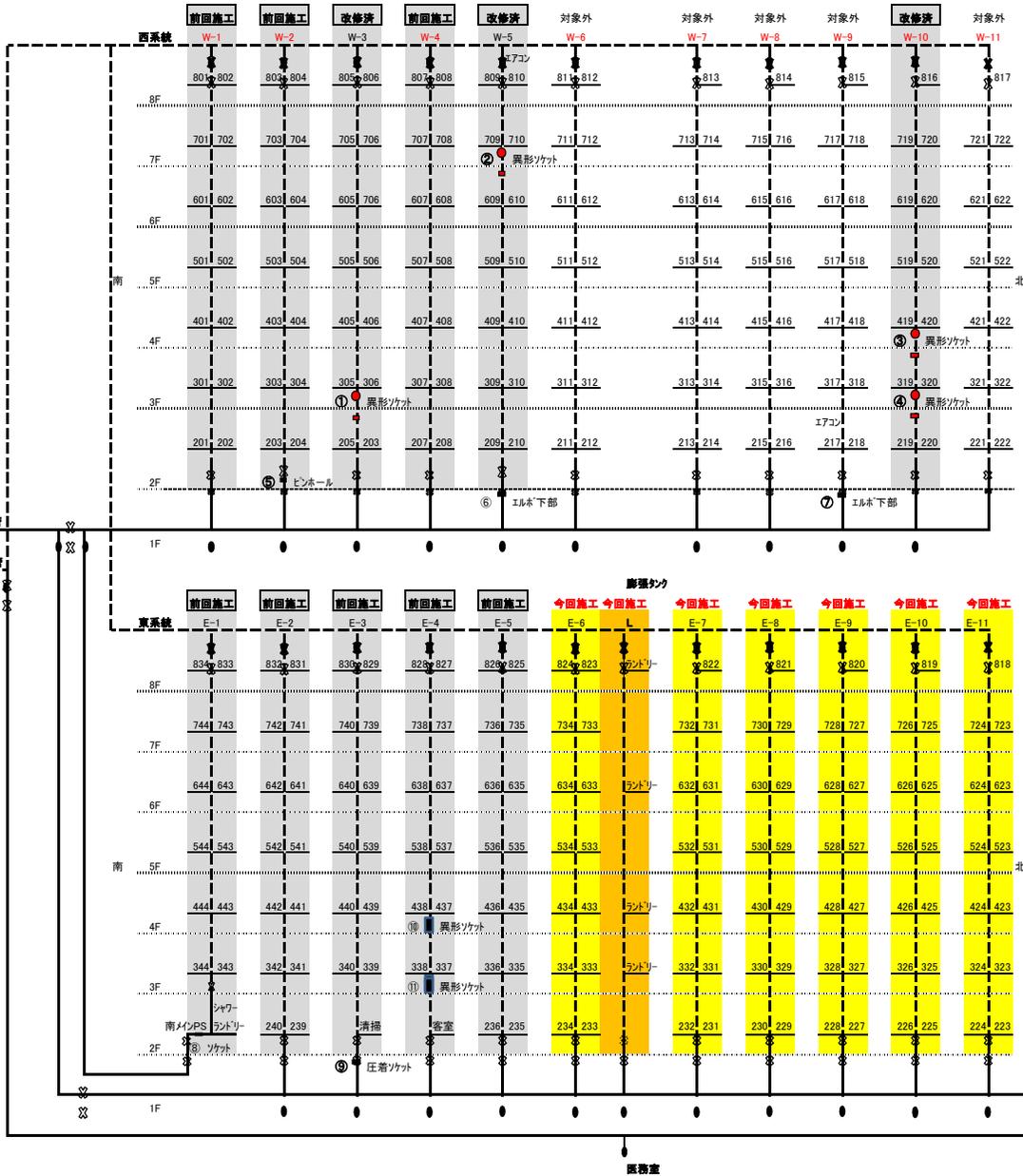
以上

給湯配管系統図(図中の201~834までの3桁の番号は部屋番号を表す。黄色およびオレンジ色塗の系統が今回施工する系統)

2022/8/17

西側

東側



- SUS配管
- - - 鋼配管
- * 黄銅ハルブ
- ⊕ SUSハルブ
- 圧着ソケット設置 4カ所
- 改修済 7カ所

- 番号 発生年月 処置
- ① 201903 圧着ソケット
 - ② 201903 圧着ソケット
 - ③ 201806 圧着ソケット
 - ④ 201903 圧着ソケット
 - ⑤ 201910 更新済
 - ⑥ 201712 更新済
 - ⑦ 201603 更新済
 - ⑧ 201806 更新済
 - ⑨ 201909 更新済
 - ⑩ 202002 更新済
 - ⑪ 202003 更新済
- E-1~5、W-1.2.4
202109 更新済

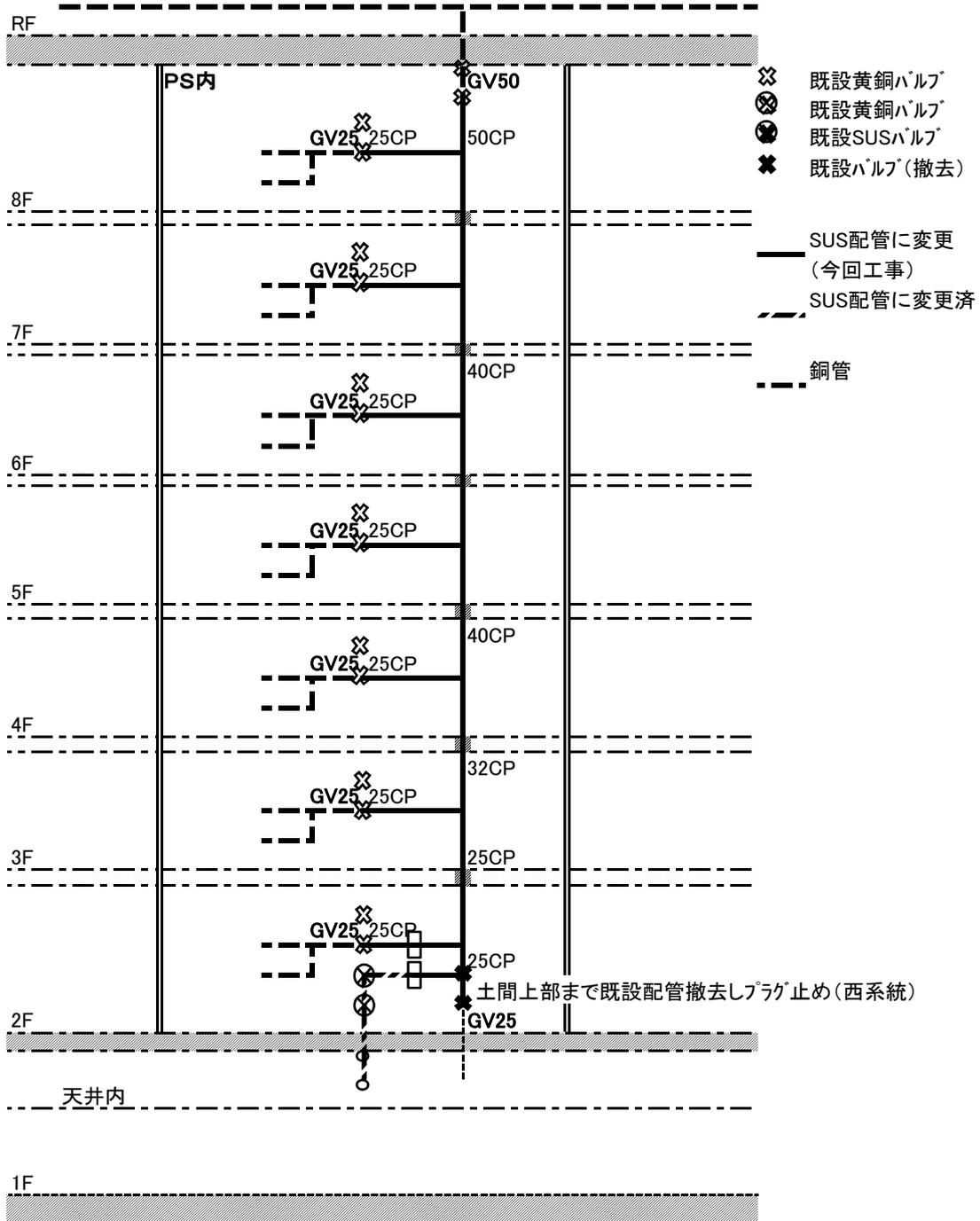
研修棟へ

既設置

PS内縦系統給湯配管改修図

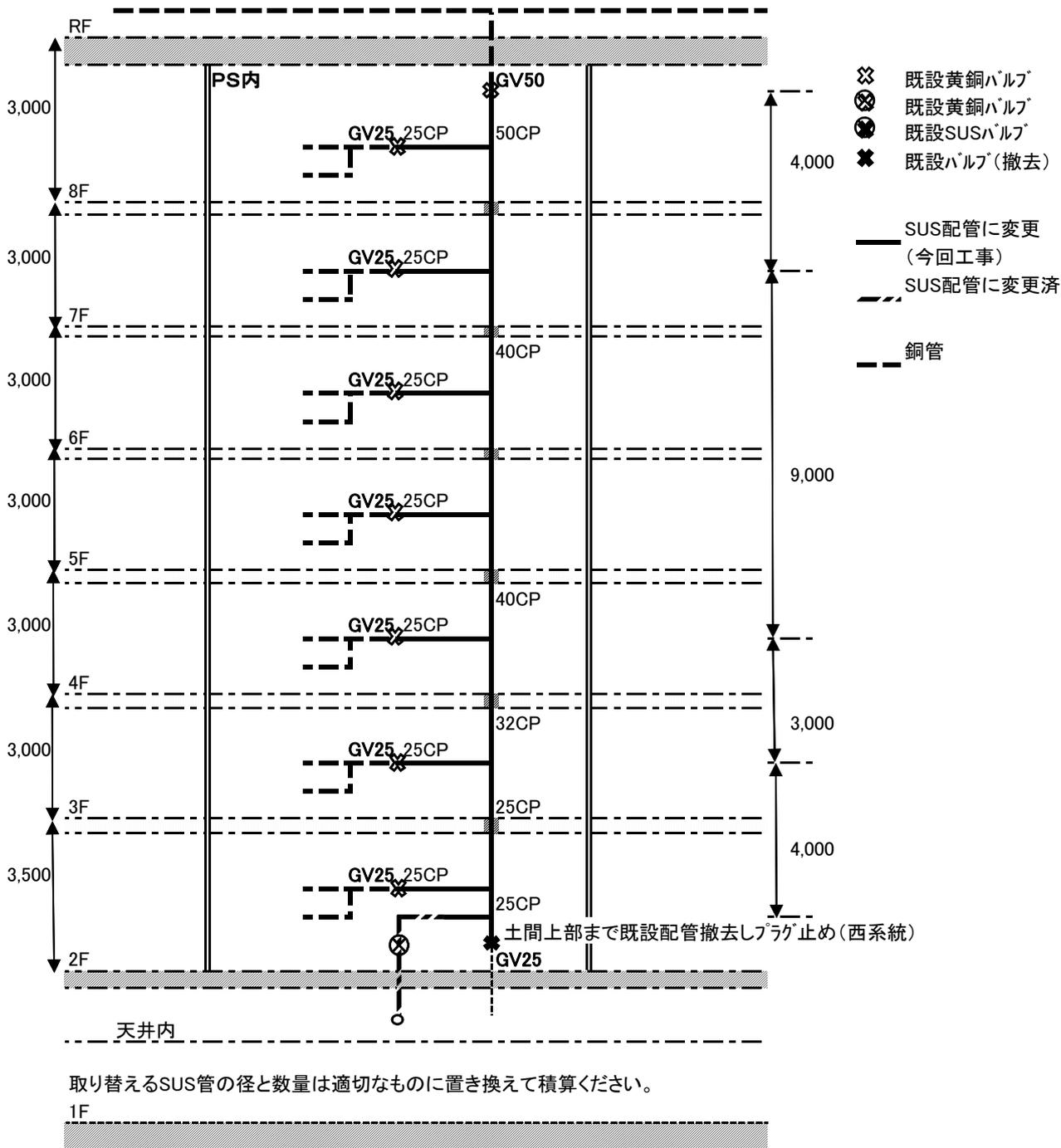
別紙「給湯配管系統図」のE-6～E11の計6系統(ランドリーを除く)

8F既設バルブより2Fフランジまで配管取替



配管数量など(拾い図)

PS内縦系統給湯配管改修図 WE-...系統
別紙「給湯配管系統図」のE-6~E11の計6系統(ランドリーを除く)

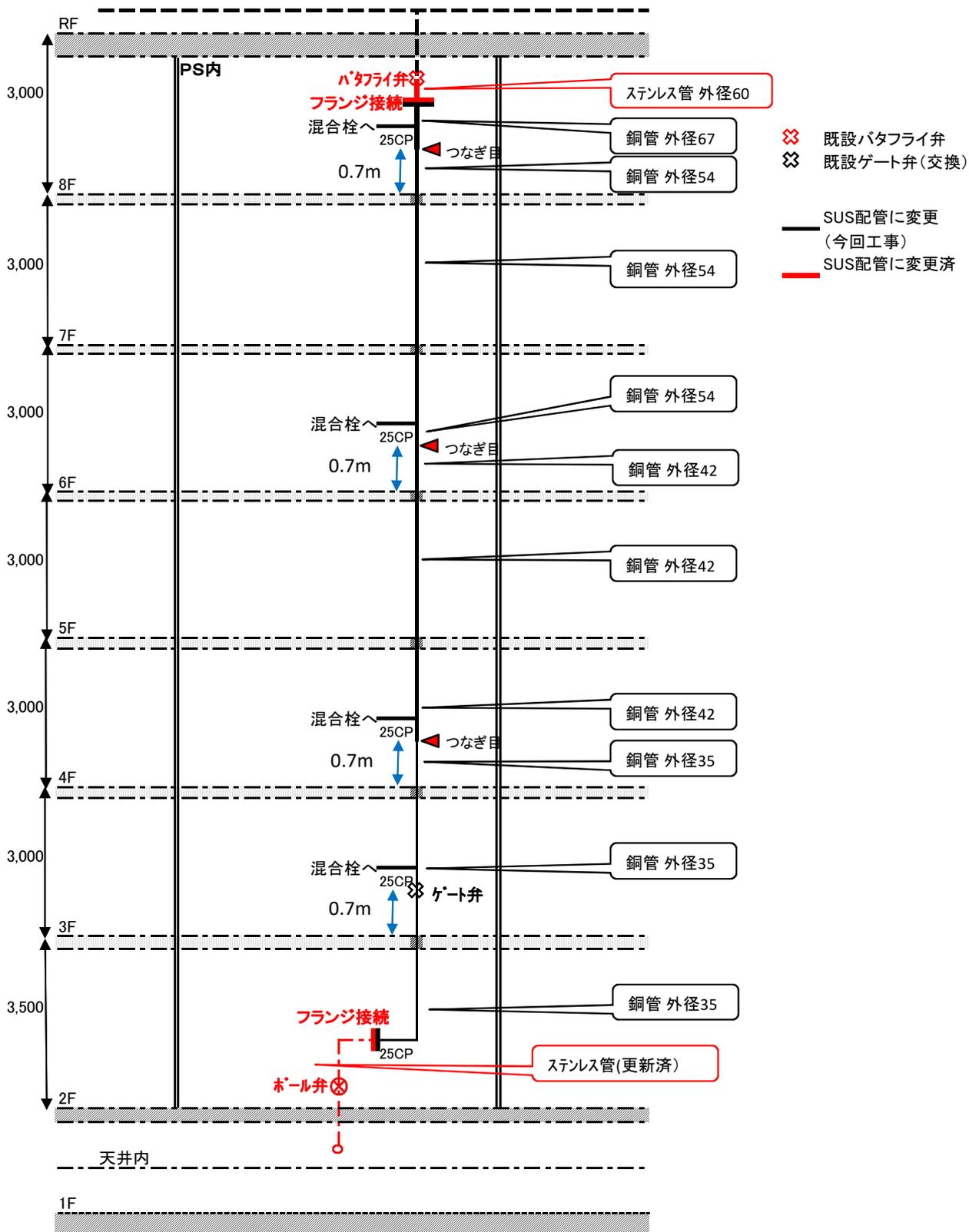


配管数量	50SU 4.0*1.1=	4.4	m	*6	=	26.4	m
	40SU 9.0*1.1=	9.9	m	*6	=	59.4	m
	30SU 3.0*1.1=	3.3	m	*6	=	19.8	m
	25SU 4.0*1.1=	4.4	m	*6	=	26.4	m
	25SU 1*7=	7	m	*6	=	42	m

縦系統給湯配管改修図

別紙「給湯配管系統図」のL(ランドリー)の1系統

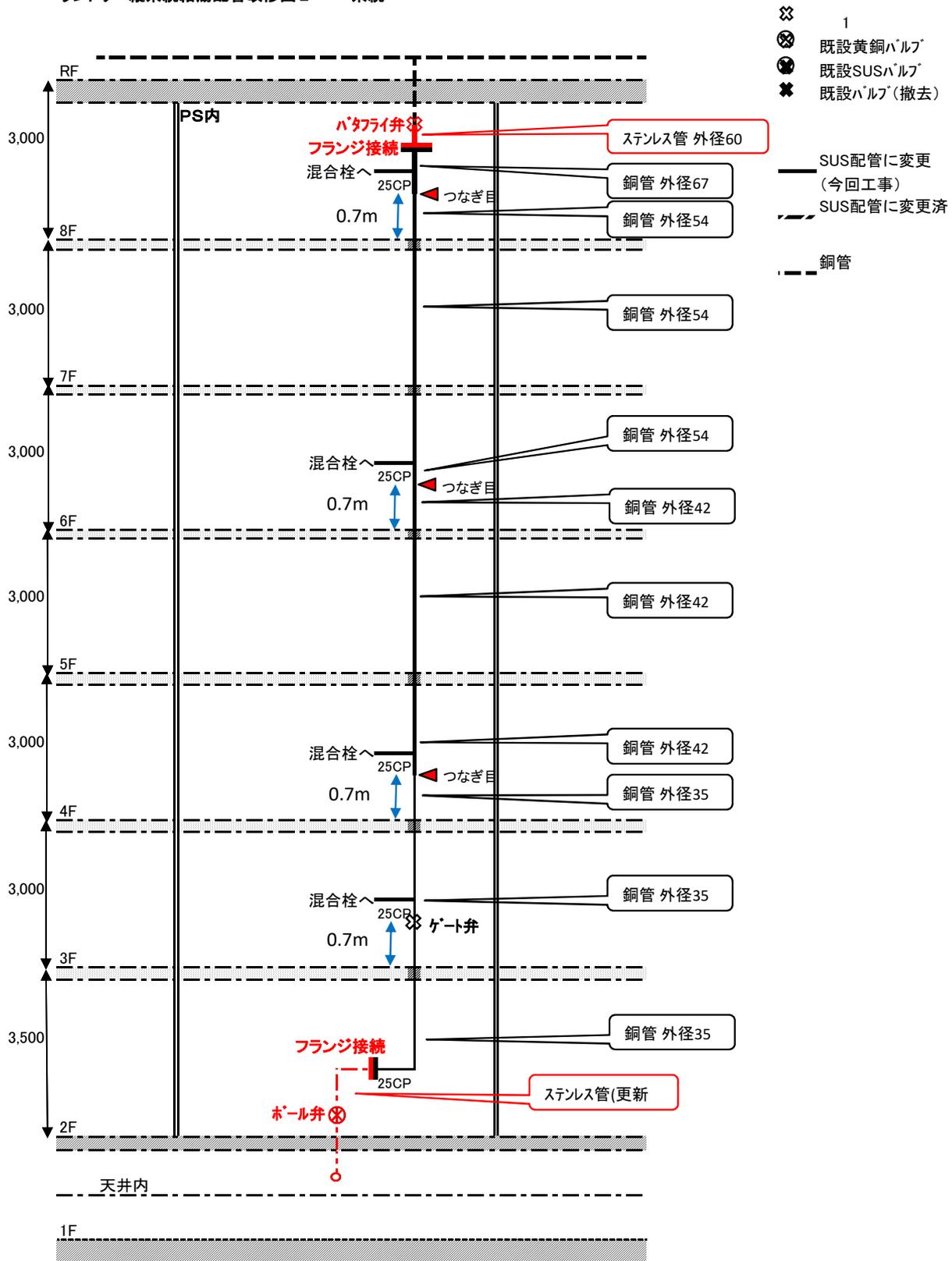
8F既設ハルブより2Fフランジまで配管取替



※上記の外径は現状の銅管の実測値。取り替えるSUS管の径と数量は適切なものに置き換えて積算ください。

配管数量など(拾い図)

ランドリー縦系統給湯配管改修図L-...系統



上記の外径は現状の銅管の実測値。取り替えるSUS管の径と数量は適切なものに置き換えて積算ください。

配管数量	60SU 1.6*1.1=	1.76	m	*1	=	1.76	m
(参考)	50SU 6.0*1.1=	6.6	m	*1	=	6.6	m
	40SU 6.0*1.1=	6.6	m	*1	=	6.6	m
	30SU 6.0*1.1=	6.6	m	*1	=	6.6	m
	25SU 1*5=	5	m	*4	=	20	m

見積項目

名称	仕様	数量	単位
一般配管用ステンレス鋼管	SUS304 25SU	88.4	m
	SUS304 30SU	26.4	m
	SUS304 40SU	66	m
	SUS304 50SU	33	m
	SUS304 60SU	1.76	m
同上継手類 銅管撤去	拡管式	1	式
	25A相当	88.4	m
	32A相当	26.4	m
	40A相当	66	m
	50A相当	33	m
	60A相当	1.76	m
支持金物類		1	式
消耗品雑材費		1	式
被覆工事	既設と同等以上	1	式
工費		1	式
撤去費		1	式
はつり費		1	式
穴埋め補修費		1	式
養生片付け清掃費		1	式
場内小運搬費		1	式
産業廃棄物処理費		1	式
既設配管接続費	25SU	53	カ所
	50SU	6	カ所
	60SU	1	カ所
水抜き水張費		1	式
運搬費		1	式
現場管理費		1	式
現場経費		1	式
諸経費		1	式

※その他必要項目は計上すること。

関西研修センター 給湯配管補修工事の同時施工工事 仕様書

No.	項目	特記事項
1.	発注概要	<p>(1) 給湯配管補修工事に併せて別工事を行う。</p> <p>(2) 契約、発注日 関西研修センター 給湯配管補修工事 仕様書に準じる。</p> <p>(3) 工期 原則として関西研修センター 給湯配管補修工事 仕様書の工期内とします。</p> <p>(4) 支払条件 関西研修センター 給湯配管補修工事 仕様書に準じる。</p>
2.	施工箇所	1階機械室 給湯(還)配管修繕
3.	施工内容	<p>貯湯槽No.1 給湯(還)配管循環ポンプ吐水側圧力計へのエルボきわ破断修理1か所。 ※詳細は別紙「熱源機械室 給湯循環ポンプ吐水側圧力計配管 破断」参照。</p> <p>① 施工部分の給湯を局所バルブを閉めて止水します。 ② 破断した部分の修繕を行います。 ③ 新しい圧力計(協会保有の予備品を使用)を取り付けます。 ④ 止水解除して動作確認を行います。</p> <p>(2) 現状説明 施工箇所および縦系給湯配管の現状と配管の仕様は別紙「熱源機械室 給湯循環ポンプ吐水側圧力計配管 破断」を参照。</p>
4.	施工(見積)条件	<p>(1) 工事範囲 上記3. 施工内容に定める工事とします。</p> <p>(2) 施工日、施工時間等について ① 発注者側と作業時間および工程に関して打ち合わせを行います。 ② 基本的には平日昼間の施工を想定していますが、一部工程は事前の協議により土曜日、日曜日、祭日および夜間に実施することも可能とします。 ③ 施工時間は、原則として8:00～17:00の間に施工するものとします。 ④ なお施工時、対象となる貯湯槽1号系統の給湯を一時的にバルブにより止水します。</p> <p>(3) 次の事項は無償支給とします。 ① 材料置き場、作業車駐車、産廃コンテナの場所 ② 施工に必要な電気、水</p> <p>(4) 特記事項 関西研修センター 給湯配管補修工事 仕様書の特記事項に準じます。</p> <p>添付資料: (1) 参考資料 「熱源機械室 給湯循環ポンプ吐水側圧力計配管 破断」</p>

以上

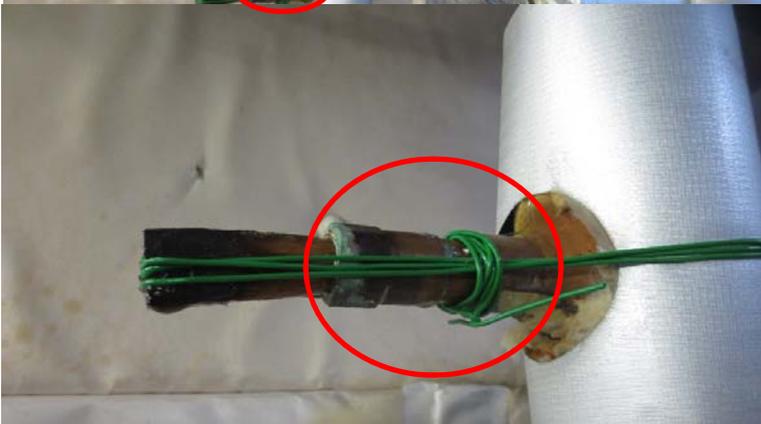
熱源機械室 給湯循環ポンプ吐水側圧力計配管 破断

 が修繕する配管部位。取り付ける圧力計はセンターの予備品を使用。



右側手前が別貯湯槽の
正常な圧力計

左側奥が破断した圧力計の
配管箇所



木栓による止水状況



圧力計側破断箇所の状況

ボール弁に表記の配管径は
3/8 です